

1. オープニング

14:40～14:45

井上 光輝

(Mitsuteru INOUE)

豊橋技術科学大学 理事・副学長

開会の辞



本学における生成AI利用について

講演概要：

最先端研究を推進する本学において、生成AIをうまく利用して科学技術の牽引していくことが重要です。また、様々な業務を進めていく上で、生成AIはとても役に立つのですが、その一方で、とても危険な面もあります。急速に進化する生成AIと付き合っていくために、改めて、利用方法や注意すべき点を確認したいと思います。

2. 教育利活用

14:45～15:00

後藤 仁志

(Hitoshi GOTO)

豊橋技術科学大学 情報メディア基盤センター教授

豊橋技術科学大学 第5回 IT活用FD・SDセミナー
IT活用教育センター

生成AIと大学DX

実施日：2025年3月11日（火）

実施時間：14:40～16:45

実施場所：オンライン（Google Meet or Zoom）

対象：本学教職員（学生も参加可能）

3. 研究・人材育成

15:00～15:45

三井化学

向田 志保 様

(Shiho MUKAIDA)

三井化学株式会社 DX推進本部 DX企画管理部
兼 信州大学 工学部 特任教授
/ 東北大学材料科学高等研究所特任教授(客員)
/ 大阪大学 基礎工学研究科招聘教授
/ MISTEM 合同会社 代表 博士（工学）

マテリアルズ・インフォマティクス活用による 素材・材料開発

効率化・人材育成・次世代AI技術の統合

講演概要：

MIの基礎的な概念から実践的な応用まで、体系的な解説を行います。また、効率的な材料開発手法の具体例や実践事例を紹介しながら、データ駆動型の開発アプローチについて説明します。さらに、生成AIや大規模言語モデル（LLM）、AIEージェントといった最新技術の活用可能性や、サプライチェーン全体を視野に入れた持続可能な材料開発の展望について考察を深めます。今後ますます重要となるMI人材の育成戦略についても具体的な提案を行います。

上智大学の事務組織における 生成AIの利活用について

講演概要：

上智大学の事務組織における、生成 AI 活用の事例について紹介します。

- ・ 翻訳業務での利用により、学内文書の日英化が進化した
- ・ 学生調査等の自由記述テキストを、生成 AI で整理して、分かりやすい報告にまとめる
- ・ Excel の使い方など、日常利用しているソフトウェアについて相談する

といった活用事例の他、生成 AI 利用における課題点についても触れる予定です。

4. 事務効率化

15:45～16:30

相生 芳晴 様

(Yoshiharu AIOI)

上智学院 IR推進室 室長



5. クロージング

16:30～16:40

中内 茂樹

(Shigeki NAKAUCHI)

豊橋技術科学大学 特命理事・副学長

総括・閉会の辞

参加申込はこちらから

<https://forms.gle/ivAsukWvnmGxKhZF7>



技術を光め、技術を育てる

国立大学法人

豊橋技術科学大学



主催・問い合わせ先：

国立大学法人豊橋技術科学大学 IT活用教育センター

www.cite.tut.ac.jp

cite-support@cite.tut.ac.jp

